

研究課題名	当院における血液培養からの ESBL 産生腸内細菌目細菌の検出状況について リスク因子の後方視的検討
試料・情報の利用目的・ 利用方法（他機関へ提 供する場合その方法）	ESBL 産生菌は主に腸管に存在する大腸菌などの細菌のうち、抗菌薬が効きにくくなった 薬剤耐性菌の一種であり、近年、世界的にも増加傾向で問題となっています。どのような 患者さんに ESBL 産生菌が検出されやすいかを調査することは、適切な感染対策や抗菌 薬治療につながり、薬剤耐性菌の感染拡大防止に役立つと考えました。
研究対象者	2024 年 1 月～12 月にベルランド総合病院にて血液培養検査と実施され、腸内細菌 目細菌が検出された方
利用又は提供する試 料・情報の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：生年月（年齢）、性別、死亡日、 診療情報（入院時情報）：経管栄養の使用、膀胱カテーテル留置、透析、入院経路 （入院前の所在）、排尿介助の必要性、喫煙歴、細菌検査結果 既往歴：糖尿病、悪性腫瘍、泌尿器科疾患、慢性腎臓病、胆道系疾患
研究予定期間	機関の長の実施許可日 ～ 2026 年 3 月
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます
試料・情報を利用する者 の範囲	この研究はベルランド総合病院 感染管理室のみで行います
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又 は機関の名称	ベルランド総合病院 クオリティ管理センター 感染管理室 氏名：田中 まこと
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先まで お申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはありません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	ベルランド総合病院 クオリティ管理センター 感染管理室 氏名：田中 まこと メールアドレス：ma_tanaka@seichokai.or.jp 〒599-8247 堺市中区東山 500-3 TEL：072-234-2001（代）